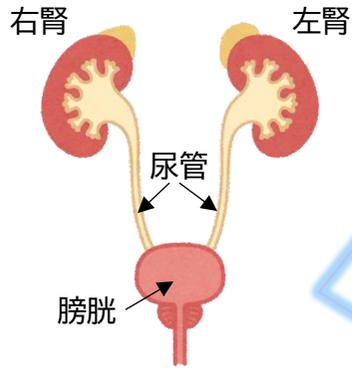


Information 9

今回は【腎臓病】についてのお話

腎臓病は、高齢になるにつれ多く診られる症例です。
特に猫に多く体質によるといわれています。



〈腎臓の簡単説明〉

腎臓はお腹の背側に2つある臓器で
左右に1つずつあります。

右腎は頭側よりに位置しており肝臓と接し
左腎は尾側よりに位置して、胃と接しています。
各腎臓から尿管が伸び膀胱につながっています。
腎臓は **一度壊れてしまうと治らない臓器**
早期発見が大切です！

?そもそも腎臓の働きは？

- ・血液から尿を作り、体内で不要になった老廃物や毒素を尿の中に排泄
- ・血圧を調節する
- ・ナトリウムやカリウムなどの血液中のイオンバランスを保つ
- ・ホルモンを分泌し、赤血球をつくる
- ・ビタミンDを活性化する

以上の働きをしてくれ非常に**大切な臓器**になっています。

機能なくなると、老廃物の排泄が不十分になり血液中に老廃物が残り
ダメージを受け**腎臓病**になってしまいます。

近年腎臓界で注目されている“AIM”

腎臓に蓄積する老廃物の除去に役立つ AIM というタンパク質が
うまく働かないことも原因で悪化するといわれ
その AIM を活性化させるアミノ酸配合の商品が発売され期待されています!!



〈主な症状〉

- ✓水をたくさん飲む
- ✓食欲低下
- ✓嘔吐
- ✓尿量が増える、尿の色が薄くなる
- ✓体重減少
- ✓痩せて毛づやが悪くなる



診断するに当たって**各種検査**が重要です。

尿検査:タンパク尿が出ることや適正な尿が作れなくなり比重が薄くなったり
尿の中(沈渣)に細胞がでてきたりする

血液検査:腎機能が60~75%以上失われないと血液検査では異常がでない。
BUN・Creは脱水や食事の結果が変わることも…

画像診断:レントゲンや超音波検査で、腎臓の大きさと形・結石の有無の確認
数ヶ月以上障害を受けると、形態や構造が崩れ元には戻らない

〈治療方法〉

① 食事管理

低タンパクや減塩など
腎臓食を与える

② 投薬

検査結果と腎臓の具合で
お薬が変わる

腎機能の悪化具合で組み合わせ！

③ 補液

毒素を溜めないように
体液循環や脱水予防に

色々あって
ビックリ!!



治療のポイントとして、“**悪化させない・キープする**”です。
付き合っていく病気なので無理なくできることを探していきましょう!!

一度壊れてしまうと戻らない臓器…
早期発見・早期治療がカギです！